

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年10月12日
【四半期会計期間】	第48期第2四半期（自平成24年6月1日至平成24年8月31日）
【会社名】	株式会社フェリシモ
【英訳名】	FELISSIMO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 矢崎 和彦
【本店の所在の場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレートスタイルデザイン本部長 大井 実
【最寄りの連絡場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレートスタイルデザイン本部長 大井 実
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第2四半期 連結累計期間	第48期 第2四半期 連結累計期間	第47期
会計期間	自平成23年3月1日 至平成23年8月31日	自平成24年3月1日 至平成24年8月31日	自平成23年3月1日 至平成24年2月29日
売上高(百万円)	22,352	21,130	46,358
経常利益(百万円)	1,000	624	1,617
四半期(当期)純利益(百万円)	423	311	651
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	335	254	663
純資産額(百万円)	25,898	26,184	26,226
総資産額(百万円)	41,190	40,829	42,233
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	42.94	31.61	66.01
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	62.9	64.1	62.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	584	179	2,556
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	594	425	804
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	297	297	299
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	14,387	15,714	16,651

回次	第47期 第2四半期 連結会計期間	第48期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年6月1日 至平成23年8月31日	自平成24年6月1日 至平成24年8月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(円)	7.04	20.98

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第47期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第47期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第48期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
6. 第47期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日～平成24年8月31日）におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要や政策効果により、緩やかながら回復傾向がみられましたが、欧州政府の債務危機問題や海外景気の減速の影響に加え、電力供給の制約など、国内経済は依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループにおきましては主力事業である「コレクション事業」での、顧客との長期的、継続的關係性の強化を推し進めてまいりました。

顧客数につきましては、Webや新聞広告の活用により新規顧客の獲得数は、前年同期を上回りました。しかしながら、期首の顧客数が前年を下回っていたことと休止顧客が増加したことで、延べ顧客数は前年同期比で減少しました。顧客の購入単価につきましては、前年同期に比べ若干低下しました。

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、21,130百万円（前年同期比5.5%減）となりました。期間中の原価率が改善されたことで、返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は、11,305百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

売上高を品目別に見ますと、生活関連分野では環境配慮型商品の売上高が前年からの好調が続いており、また食品分野の売上高も前年同期を上回っております。しかしながら、売上高全体では服飾・服飾雑貨分野及び生活関連分野ともに前年同期を下回りました。

販売費及び一般管理費につきましては、延べ顧客数が減少したことで商品充足率が改善されたことで、別便での配送数が減少し、配送関連費用は削減されました。前年同期は東日本大震災のため控えていた広告出稿を再開したことで、広告費は増加しました。これらの結果、販売費及び一般管理費は10,785百万円（前年同期比0.9%減）となり、営業利益は519百万円（前年同期比47.5%減）となりました。

営業外損益は、為替差益などの営業外収益が104百万円となり、経常利益は624百万円（前年同期比37.6%減）となりました。Web基盤システムの開発に係るソフトウェア仮勘定の除却等による特別損失66百万円を計上したことで、税金等調整前四半期純利益は557百万円（前年同期比28.4%減）となり、四半期純利益は311百万円（前年同期比26.4%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金、売掛金の減少等により前連結会計年度末と比べ1,404百万円減少し、40,829百万円となりました。負債合計は、仕入債務の減少等により前連結会計年度末と比べ1,362百万円減少し、14,644百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末と比べ41百万円減少し、26,184百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて936百万円減少し、15,714百万円となりました。

営業活動の結果減少した資金は179百万円（前年同期は584百万円の増加）となりました。これは主に法人税等の支払額198百万円によるものであります。

投資活動の結果減少した資金は425百万円（前年同期は594百万円の増加）となりました。これは主に現在進行中の基幹システムの改修を中心とした無形固定資産の取得による支出549百万円によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は297百万円（前年同期は297百万円の減少）となりました。これは主に配当金の支払による支出295百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,427,200
計	33,427,200

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年10月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,043,500	10,043,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	10,043,500	10,043,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成24年6月1日～ 平成24年8月31日	-	10,043,500	-	1,868	-	4,842

(6) 【大株主の状況】

平成24年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
矢崎 勝彦	京都市右京区	1,612	16.05
(有)樹福	京都市右京区嵯峨鳥居本化野町12 - 35	1,000	9.95
(有)目神山事務所	兵庫県西宮市甲陽園目神山町31 - 125	783	7.79
宮脇 繁	大阪府箕面市	411	4.10
宮脇 恒	神戸市東灘区	411	4.10
矢崎 和彦	兵庫県西宮市	294	2.92
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8 - 11	266	2.65
子守 康範	神戸市垂水区	262	2.61
星 美佐	兵庫県西宮市	262	2.61
子守 康輝	大阪府豊中市	262	2.61
計	-	5,567	55.43

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 180,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,860,500	98,605	-
単元未満株式	普通株式 2,600	-	-
発行済株式総数	10,043,500	-	-
総株主の議決権	-	98,605	-

【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社フェリシモ	神戸市中央区浪花町 59番地	180,400	-	180,400	1.79
計	-	180,400	-	180,400	1.79

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,109	14,441
売掛金	4,047	3,511
有価証券	1,504	1,503
信託受益権	2,215	2,048
商品	5,022	5,229
貯蔵品	154	132
その他	981	1,113
貸倒引当金	78	76
流動資産合計	28,955	27,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,008	1,957
土地	3,984	3,984
その他(純額)	657	589
有形固定資産合計	6,650	6,531
無形固定資産	3,779	3,807
投資その他の資産		
投資有価証券	1,568	806
長期預金	-	500
その他	1,283	1,285
貸倒引当金	4	4
投資その他の資産合計	2,847	2,587
固定資産合計	13,278	12,926
資産合計	42,233	40,829
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,071	2,015
支払信託	8,184	6,928
未払法人税等	209	328
販売促進引当金	337	342
その他の引当金	348	367
その他	2,258	2,022
流動負債合計	13,409	12,005
固定負債		
退職給付引当金	2,236	2,276
その他	361	362
固定負債合計	2,598	2,639
負債合計	16,007	14,644

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,842	4,842
利益剰余金	20,436	20,452
自己株式	385	385
株主資本合計	26,761	26,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	3
繰延ヘッジ損益	18	9
為替換算調整勘定	554	580
その他の包括利益累計額合計	535	593
純資産合計	26,226	26,184
負債純資産合計	42,233	40,829

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	22,352	21,130
売上原価	10,485	9,882
売上総利益	11,866	11,248
返品調整引当金戻入額	181	180
返品調整引当金繰入額	172	122
差引売上総利益	11,876	11,305
販売費及び一般管理費	¹ 10,887	¹ 10,785
営業利益	989	519
営業外収益		
受取利息	17	13
為替差益	-	43
受取補償金	16	6
その他	38	40
営業外収益合計	72	104
営業外費用		
為替差損	17	-
支払補償費	42	-
その他	1	0
営業外費用合計	61	0
経常利益	1,000	624
特別利益		
固定資産売却益	² 381	-
貸倒引当金戻入額	0	-
特別利益合計	381	-
特別損失		
固定資産除却損	³ 588	³ 66
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14	-
特別損失合計	603	66
税金等調整前四半期純利益	778	557
法人税、住民税及び事業税	358	305
法人税等調整額	3	60
法人税等合計	354	245
少数株主損益調整前四半期純利益	423	311
四半期純利益	423	311

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	423	311
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1	3
繰延ヘッジ損益	18	27
為替換算調整勘定	67	26
その他の包括利益合計	88	57
四半期包括利益	335	254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	335	254
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	778	557
減価償却費	659	566
引当金の増減額(は減少)	97	61
受取利息及び受取配当金	17	13
売上債権の増減額(は増加)	905	538
たな卸資産の増減額(は増加)	721	182
仕入債務の増減額(は減少)	853	1,312
未払金の増減額(は減少)	99	186
その他	234	31
小計	983	4
利息及び配当金の受取額	24	23
法人税等の支払額	423	198
営業活動によるキャッシュ・フロー	584	179
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	650
定期預金の払戻による収入	-	50
有価証券の償還による収入	750	750
有形固定資産の取得による支出	34	34
無形固定資産の取得による支出	464	549
投資有価証券の取得による支出	761	-
投資不動産の売却による収入	1,075	-
その他	29	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	594	425
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	2	2
配当金の支払額	294	295
その他	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	297	297
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	33
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	813	936
現金及び現金同等物の期首残高	13,574	16,651
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,387	15,714

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
当座貸越契約 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。 この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額 1,000百万円 借入実行残高 - 差引額 1,000	当座貸越契約 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。 この契約に基づく当四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額 1,000百万円 借入実行残高 - 差引額 1,000

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 広告費 3,081百万円 運送費 1,441 給与手当 1,922 賞与引当金繰入額 212 減価償却費 658 2. 固定資産売却益の主なものは、投資その他の資産 その他(投資不動産)の売却益374百万円であります。 3. 固定資産除却損の主なものは、無形固定資産(ソフトウェア仮勘定)の除却損586百万円であります。	1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 広告費 3,295百万円 運送費 1,348 給与手当 1,860 賞与引当金繰入額 216 減価償却費 565 2. 3. 固定資産除却損の主なものは、無形固定資産(ソフトウェア仮勘定)の除却損64百万円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
・現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年8月31日現在)	・現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年8月31日現在)
現金及び預金勘定 12,713百万円	現金及び預金勘定 14,441百万円
信託受益権勘定 2,248	信託受益権勘定 2,048
預入期間が3ヵ月を超える 定期預金 574	預入期間が3ヵ月を超える 定期預金 775
現金及び現金同等物 14,387	現金及び現金同等物 15,714

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月25日 定時株主総会	普通株式	295	30	平成23年2月28日	平成23年5月26日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月29日 定時株主総会	普通株式	295	30	平成24年2月29日	平成24年5月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

当社グループは、服飾・服飾雑貨及び生活関連商品を中心とした通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、企業集団の事業の運営において重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	42円94銭	31円61銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	423	311
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	423	311
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,863	9,863
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月12日

株式会社フェリシモ
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 萩森正彦
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フェリシモの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フェリシモ及び連結子会社の平成24年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。